



北海道の社会教育主事講習について

北海道立生涯学習推進センター





北海道立生涯学習推進センターについて

1

当センターが実施する社会教育主事講習の概要

2

3つのポイント

3

受講者数(層)の変化

4

オンラインでの実施による可能性と課題

5

課題に対する取組

6

受講者の声・感想

7

社会教育主事講習を通じて目指すこと



北海道立生涯学習推進センター

基本方針

- 本道における生涯学習振興の拠点として、市町村や高等教育機関及び産業界と連携を図りながら、社会の進展や地域の要請にこたえる事業を総合的に行い、道民のさまざまな学習が促され、それらの活動が豊かに展開されるよう支援する。

機能

(1) 調査研究

生涯学習の推進に関する調査研究を行うとともに、その成果の普及に努める。
また、生涯学習に関する研究資料の収集及び保存に努める。

(2) 指導者の養成・研修

生涯学習を推進する指導者の養成を行うとともに、生涯学習関係職員等の資質向上を図るため、各種研修を行う。

(3) 学習情報の提供・相談

生涯学習に関する情報の収集及び提供を行うとともに、各種相談に応じる。
また、家庭教育支援及び市町村行政機関関係者等への支援を行う。

(4) 学習機会の提供

新しい北海道を創造する人づくり・地域づくりに関する学習機会の提供を行う。

(5) 教育メディアの利用促進

視聴覚教材の収集・整備・貸出しを行い、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援する。



(写真)北海道立生涯学習推進センター
※道民活動センタービル「かでる2・7」8階



(4) 学習機会の提供 北海道と包括連携協定を締結している民間企業との取組

カルチャーナイト
CULTURE NIGHT
2023
7.21.FRIDAY

CULTURE NIGHT 2023

令和5年7月21日(金)
北海道立道民活動センター
(かでの2・7)
札幌市中央区北2条西7丁目

お菓子
つかみどり&
詰め合わせバック
プレゼント!
詳細は中画をチェック!

本プログラムは、カルチャーナイト2023事業のプログラムの一つとして実施します。

かでの27

CULTURE NIGHT 2023

北海道×明治安田生命

親子で学ぶ! **こども航空教室**

飛行機が安全に空を飛ぶために欠かすことのできない整備、客室乗務員のお仕事や飛行機の飛び仕組み等を、「JALふるさと応援隊(株)客室乗務員」が紹介します!
※全国各空港の活性化をきめ細やかに推進するために、社内公募により選ばれた「JALふるさと応援隊」は、全国47都道府県ごとに約20名、総勢約1,000名の客室乗務員が活動しています

参加費無料!

定員 20組 開催期日 2023年7月21日(金)

テーマ 見て、聞いて、知る!
飛行機の仕組みと空港を支える仕事を知ろう
(小学校低学年児童対象、保護者の方ご同伴のうえ、ご参加ください)

- 会場では、地元の「JALふるさと応援隊」(客室乗務員)が登場
- 飛行機の飛び仕組みを学ぼう
- 飛行機の整備や客室乗務員のお仕事紹介、客室乗務員への感謝コーナーの開催
- 9階特設コーナーで、「歯年齢測定」「ベジチェック(野菜の摂取量測定)」実施

時間 17時30分～18時40分 受付:17時10分

場所 道民活動センタービルかでの2・7 9階 まなびの広場

お問い合わせ先
北海道立生涯学習推進センター(担当 廣川、小林、青柳)
〒062-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル「かでの2・7」9階
TEL: 011-204-5782 FAX: 011-261-7451
E-mail: shougai12@pref.hokkaido.jp WEB: https://manabi.pref.hokkaido.jp/



概要

- 文科省からの委託により、令和2年度から教育機関である北海道立生涯学習推進センターが実施。
 - 担当職員3名(うち社会教育主事2名)

- 本道の広域性を踏まえ、オンライン会議システム「Zoom」にて講義を配信。
 - [講師及び事例発表者]道内:12名、道外25名(令和5年度社会教育主事講習A日程)

- A日程(7月~9月)とB日程(10月~1月)で実施。

- 受講者数
 - 令和2年度 74名(資格付与)、64名(一部科目指定)
 - 令和3年度 122名(資格付与)、71名(一部科目指定)
 - 令和4年度 88名(資格付与)、36名(一部科目指定)





3つのポイント

Check!

- ① 全科目のオンライン実施
- ② 「社会教育演習」における専門的な分野に特化した学び
- ③ 北海道社会教育主事会協議会との連携
 - 道内14管内社会教育主事会及び道教委社会教育主事会で構成。
 - 受講後のつながりにも期待。



3つのポイント①

Check!

全科目のオンライン実施

受講者のデジタルリテラシーの向上

自分のオンライン研修のスキル変容について	事後	
・受講前と比べてスキルは上がった。	44人 (66.7%)	} 61名 (92.5%)
・受講前と比べてスキルは少し上がった。	17人 (25.8%)	
・あまり変わらない。	5人 (7.6%)	

Googleについて(複数回答可)	事前	事後	
・Classroomは基本的に活用できる。	52人 (83.9%)	64人 (97.0%)	↗
・Chatは基本的に活用できる。	46人 (74.2%)	59人 (89.4%)	↗
・formの回答は基本的に活用できる。	51人 (82.3%)	59人 (89.4%)	↗
・slideは基本的に活用できる	33人 (53.2%)	45人 (68.2%)	↗
・Jamboardは基本的に活用できる。	17人 (27.4%)	38人 (57.6%)	↗

全ての項目において
事後が事前を上回る
結果

B講習の事前・事後に実施した、受講者のオンラインスキル意識に関するアンケート結果より[回収: 62/70(事前)、66/70(事後)]



3つのポイント①

Check!

全科目のオンライン実施

道内外の多様な講師による講義

○ 質の高い講義を効率的に受講し、最先端の知識を身に付けることができる。



- ・東京大学大学院教育学研究科教授
- ・特定非営利活動法人教育支援協会代表理事
- ・文教大学人間科学部准教授

牧野 篤 氏
 吉田 博彦 氏
 青山 鉄兵 氏 等

素晴らしい講師陣から、社会教育の最新の情報を学ぶことができました。大変満足しています。
 受講者事後アンケートより

講義をしていた先生が、その日の夜にNHKの北海道特集で取り上げられている姿を観て、最先端の社会教育を学んでいる気がしました。
 受講者事後アンケートより

→ オンラインの良さを活かした多様な学び方を経験したことにより、多様な学びの場づくりが期待できる。



3つのポイント②

Check!

「社会教育演習」における専門的な分野に特化した学び

実践力を身に付ける基盤づくり

○ 「地方創生」、「防災教育(災害対応)」、「放課後活動」、「高齢者教育」の4つのテーマから、受講者自身がテーマを選択し、グループで協力しながら主体的に事業企画案を作成。

Point! 話し合いや現場の声を聴く内容を可能な限り多く設定。

社会教育事業立案～芽室ジモト大学の事例から

社会教育事業実施の流れ	取組内容
課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり(町総合計画) ひとが集い、誰もが安心して暮らすことができる魅力的なまちづくり(まち・ひと・しごと創生総合戦略) ふるさと芽室町への愛を育む、社会の変化に対応する力を育む、社会で活躍する人を育む(教育大綱) 豊かな心を育むづくりと生涯にわたる学びの充実(教育振興基本計画) 多様な学習機会の確保、充実(社会教育推進中期計画)
事業計画立案	<ul style="list-style-type: none"> 芽室ジモト大学の計画立案 【目的】中高生を対象に地域を知り、郷土愛を育むとともに、将来のまちづくりの担い手として活動するきっかけとなるジモト大学を開催する
学習展開計画立案	<ul style="list-style-type: none"> 事業における1回1回の学習展開計画を立案する ①Webデザイン、②商品開発、③シンポジウムの実施
事業評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> 1回ごとの学習展開計画の評価を行う 事業全体の評価を行う 一課題の改善につながっているか 評価を受けて、次に向けての改善を行う

「地方創生」

R1年度 われら防災マスター

「逃げる!」

2019年度マイバツ高島地区 避難訓練の開催

われら防災マスター

防災マップをつくらう!

「われら防災マスター」開催要領

- 目的: 自治体主催の避難訓練による防災意識の向上を図る。防災マップの作成を通じて、地域住民の防災意識を高め、防災力の向上を図る。
- 対象: 高島地区の小学生、中学生、高校生、市民。
- 場所: 高島地区の小学校、中学校、高校、市民センター。
- 日時: 2019年10月14日(土)～15日(日)。
- 内容: ①防災マップの作成、②防災クイズの開催、③防災体験の開催。
- 費用: 無料。
- お問い合わせ: 高島地区防災対策委員会。

「住み慣れた私たちの街 防災の目で見る方を一緒に引こう!」

日時: 9月14日(土)～15日(日)

対象: 小学生4年生～6年生

費用: 1,200円

高島地区防災対策委員会

〒040-0201 高島市 高島町 高島地区防災対策委員会

TEL: 0142-72-1111

FAX: 0142-72-1112

高島地区防災対策委員会

〒040-0201 高島市 高島町 高島地区防災対策委員会

TEL: 0142-72-1111

FAX: 0142-72-1112

「防災教育(災害対応)」

事例紹介

東神楽町

放課後子ども教室

児童クラブの児童も参加可能

事例

えいごであそぼー!

(全3回)

KAMIKAWA District Office.Hokkaido Board of Education

「放課後活動」

北海道の高齢者は全体のどれくらい??

北海道高齢者率 (令和3年1月1日時点)

A30.1% **B32.1%** C36.2%

高齢者支援局高齢者保健福祉課 <北海道の高齢者人口の状況>
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ts/3/4/7/1/6/7/1/_/R3_koureikaritsu.pdf

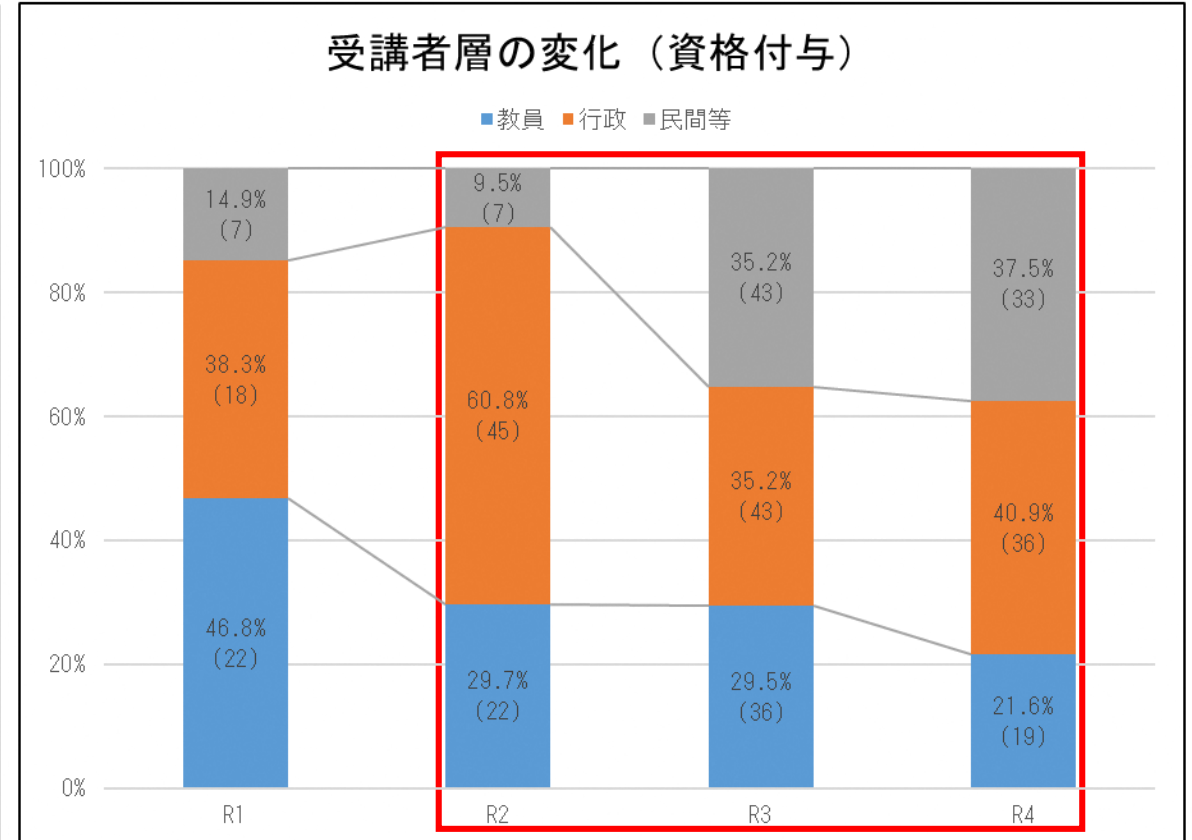
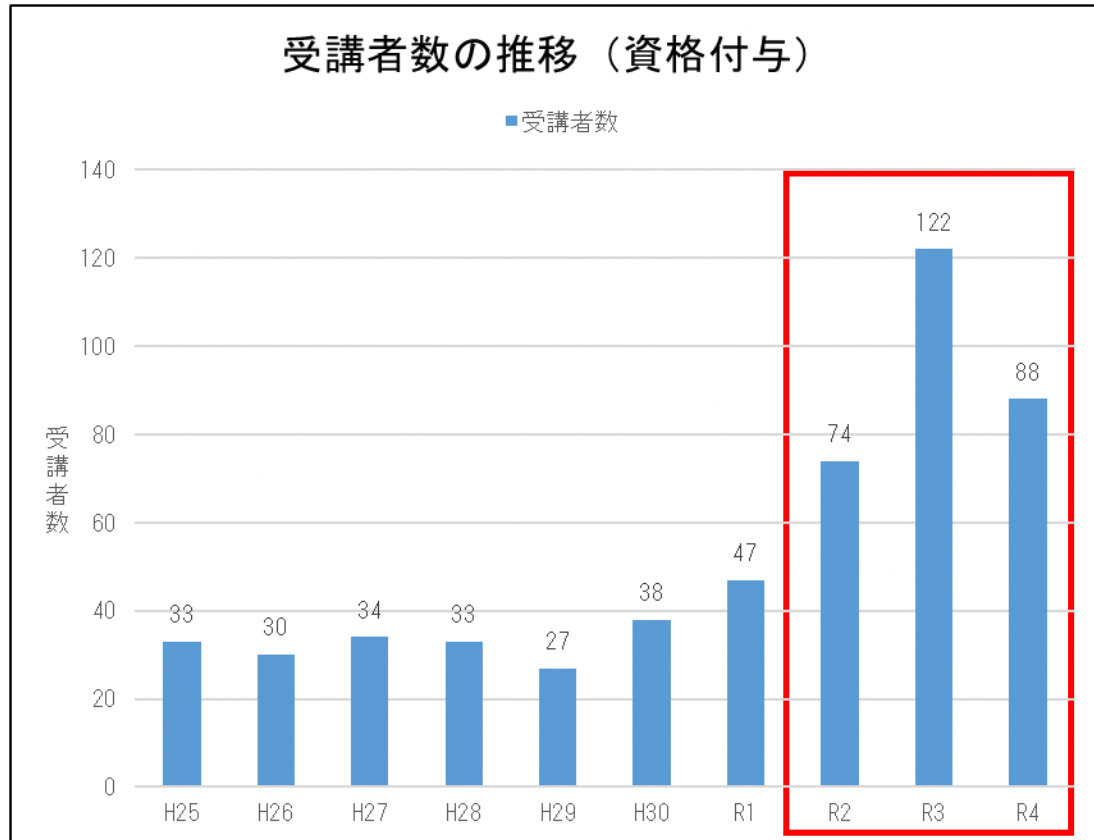
ちなみに平取町は高齢者率36.2%

「高齢者教育」

→ オンラインの弱点と言われる交流の難しさを克服するとともに、現場での実践に繋がる学びを提供。



受講者数(層)の変化



- 令和2年度から、当センターが受託。受講者数は令和元年度までと比べ、大幅に増加。
- 受講者層については、行政、民間等が増加傾向。



受講者数(層)の変化

令和4年度受講者事後アンケートより

- 遠方に住んでいるため、会場に行くことは難しい。オンライン実施だったため、旅費がかからず、手軽に参加することができた。
- 出張命令簿や復命書などの業務を減らすことができ、オンラインでも効果的な研修であった。
- オンラインだったため、様々な方が参加しており、地域の枠を超えて交流することができた。
- オンライン研修自体が勉強になった。

→ オンラインでの実施により、参加に対する負担が軽減された。

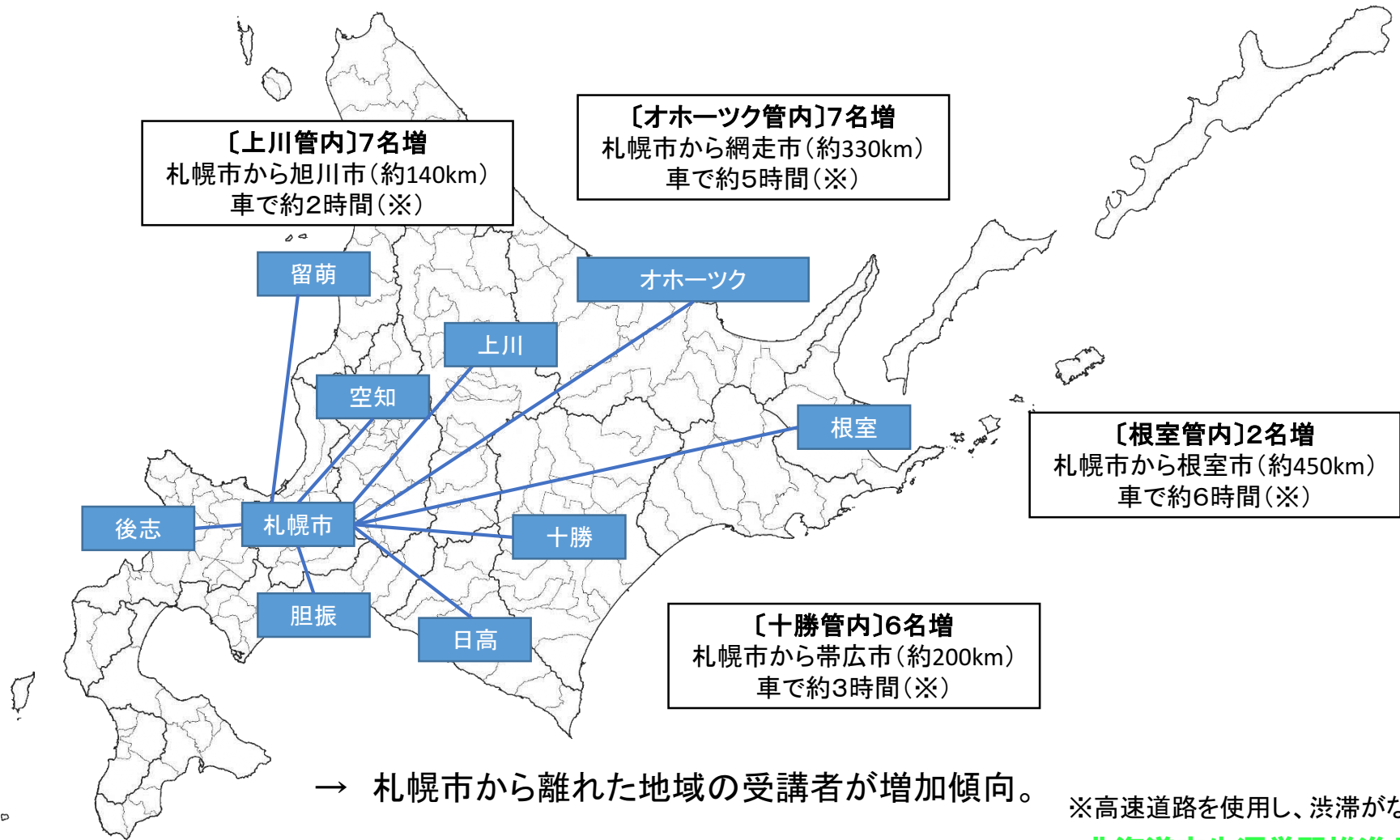


受講者数(層)の変化

14管内のうち10管内で受講者数が増加！

〔受講者数〕

管内	R1	R4
空知	3名	6名
石狩	9名	19名
後志	3名	6名
胆振	4名	7名
日高	1名	3名
渡島	5名	4名
檜山	2名	0名
上川	4名	11名
留萌	0名	1名
宗谷	1名	1名
オホーツク	2名	9名
十勝	3名	9名
釧路	8名	5名
根室	2名	4名



→ 札幌市から離れた地域の受講者が増加傾向。

※高速道路を使用し、渋滞がない場合



オンラインでの実施による可能性と課題

- オンラインを活用することで学習の内容・方法の多様化・充実化を図ることができ、様々な人々が共に学び合う場を実現していくことが可能。受講しやすい環境を整備することで、社会教育主事はもとより、社会教育行政を理解した「社会教育士」を多く育成することに繋がり、地域の社会教育の振興に寄与することが期待される。
- 多様な受講者同士が共に学ぶことができる場を設定することで、新たな学びの機会へ繋がることを期待でき、様々な取組や活動への可能性が広がる。
- △ 受講者から「他の方々との交流を深めるような対応をして頂けるとつながりも深まると感じた。」といった感想があるなど、オンラインによる運営の更なる工夫や、社会教育主事講習後の研修・交流機会の設定が必要。

〔受講者の声〕(受講者事後アンケートより)

- ・ 事業を進める上での①課題やプロセスが語られる講義があると良いと思った。
- ・ オンラインでも対面でも良いと思うが、②講師や受講者と交流が深められる工夫があると良い。



課題に対する取組①ー1～課題やプロセスが語られる講義

- 「社会教育演習」では、ブレイクアウトルーム機能を活用し、4～5人が1グループとなって活動。
- 各教育事務所や各道立体験活動支援施設ネイパルで勤務している社会教育主事による、防災・地域づくり・放課後活動など専門的なテーマに特化した事業を企画・立案する際のポイントについてショートレクチャー。
- 北海道社会教育主事会協議会に所属している、市町村教育委員会の社会教育担当者から事業を企画する際の注意点やニーズの捉え方、課題整理の仕方、各種計画との接続について説明を受け、助言者のアドバイスを参考に参加者同士が話し合い、事業企画を共に考え、発表。

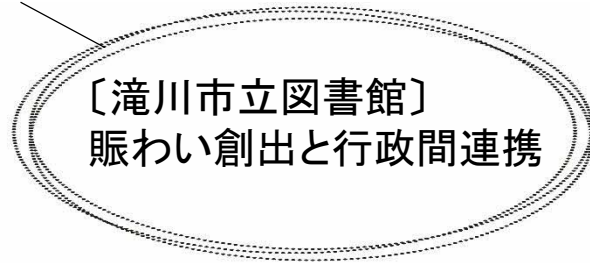


- ・ 課題やプロセスから、実際の社会教育活動がどのように行われているのか知り、学ぶ。
- ・ 専門的な知識を身につける。

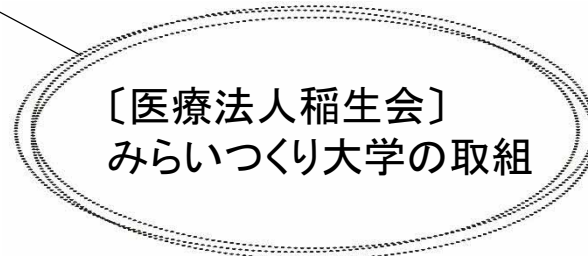


課題に対する取組①ー2～課題やプロセスが語られる講義

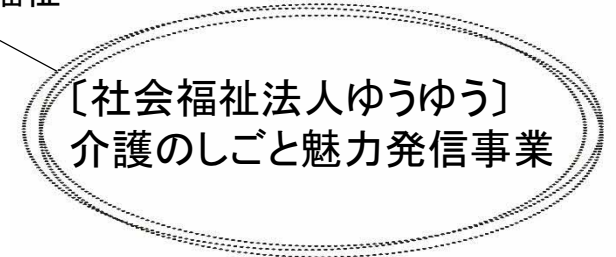
施設間ネットワーク



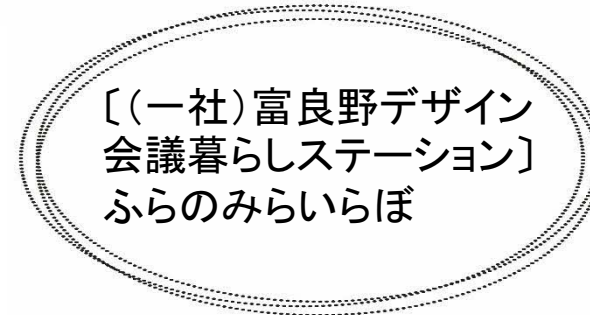
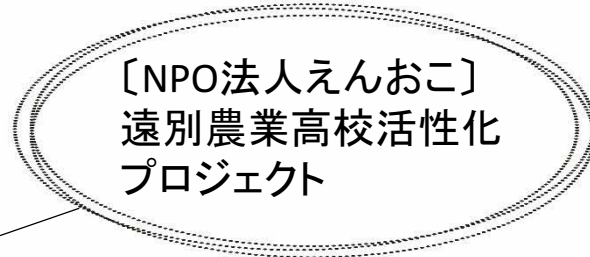
障がい者の生涯学習



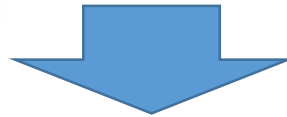
地域と福祉



地域学校協働活動



まちづくり



- 多様な主体による事例発表を多く設定することで、学習者の多様な特性に応じて学習支援を行うことの重要性を理解するとともに、具体的な活動や取組のイメージを持つ。



課題に対する取組②－1～講師や受講者が交流を深められる工夫

運営者 - 受講者

○ Google Classroom の利用

→ リフレクションシートの提出、返却、受講に関する質問・回答等のやりとり。

[令和4年度事後アンケートより]

- ・ 受講生の立場をよく理解していただき、研修について配慮いただいたことに心より感謝いたします。困った時にもとても親身に対応していただき安心して受講できました。
- ・ オンライン講習の中で浅川ルーム(社会教育主事)が1番の楽しみでした！対面で会えない分、浅川ルームでグループ以外の人ともコミュニケーションを取ることが出来、講義後も仲良くしたいと思える人々に出会えた事は今後の財産になると思います。

講師 - 受講者

○ Google Chat の利用

→ 講義の質問や感想を含めて、受講者と講師が交流。

受講者 - 受講者

○ ブレイクアウトルーム(Zoom) の利用

→ 1日の最後には、10～15分程度を「1日のふりかえりの時間」として、運営者で振り分けたグループで、講義の感想等を交流。



課題に対する取組②-2～講師や受講者が交流を深められる工夫

青少年教育施設の中継(令和2年度[B]講習)

- サテライト会場となっていた「北海道青少年体験活動支援施設ネイパル森」の施設内の様子を参加者に中継配信



(写真)北海道青少年体験活動支援施設ネイパル森会場



社会教育主事講習後の研修・交流機会の創出

会場 道民活動センタービル「かでの2・7」

令和5年度(2023年度)北海道立生涯学習推進センター主催事業

社会教育スキルアップ研修会 【全3回】

本研修会は社会教育におけるコーディネートやファシリテーションの手法・技術の向上について対面型(集合型)で学ぶ社会教育主事講習のフォローアップ研修という位置づけになっています。地域で活躍する社会教育主事、社会教育士を対象とした内容ではありますが、社会教育に興味のある方であればどなたでもご参加いただけます。

8/22
(火)

①「地域におけるスポーツの推進」
健康で豊かな生活の形成や魅力ある人づくり・地域づくりを進めるために、生涯学習・社会教育の視点から取り組むべきことについて理解を深めます。
講師：北海道教育大学旭川校キャンパス長 山本 理人 氏

「生涯学習概論～生涯スポーツと社会教育」

9/8
(金)

②チームで解く「気候変動のミステリー」
学習プログラム「気候変動の謎」を体験します。ファシリテーションで学んだことを実践しながら、気候変動に関する学びの場づくりのヒントを得ます。
講師：北海道環境パートナーシップオフィス 清淵 清彦 氏

「生涯学習支援論～参加型学習の実際とファシリテーション技法」

12/14
(木)

③「コミトレの極意」
アイスブレイクから課題解決の段階まで集団を容容させるコミュニケーショントレーニングの技法を体験的に学び、実践的なテクニックを身につけます。
講師：国立日高青少年自然の家 主任企画指導専門職 石山 浩幸 氏

お問い合わせ先
北海道立生涯学習推進センター
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル「かでの2・7」8階
TEL：011-204-5782 FAX：011-261-7431 E-mail：shougai.12@pref.hokkaido.lg.jp



社会教育主事講習後の研修・交流機会の創出

北海道社会教育セミナー

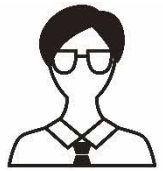


地域生涯学習活動実践交流セミナー





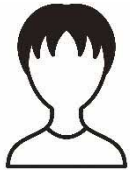
受講者の声・感想



社会教育士Aさん(R3社会教育主事講習受講)

【NPO法人スポーツクラブ(クラブマネージャー)】

「法令や社会教育のこれまでの経緯などを学んだことで、改めて自分の活動を見つめ直したり、今後の方向性を明確にしたりすることができました。」



社会教育士Bさん(R3社会教育主事講習受講)

【医療法人職員、北海道教育委員会社会教育委員】

「わたしは今、障害者の生涯学習に携わっています。社会教育という学びの場がなぜ必要なのか、社会教育主事講習で一から学ばせていただき、行政が地域住民のために取り組む目的も知ることで、障害のある方と共に学ぶ場づくりの参考となりました。」

→ 社会教育主事と社会教育士が共に学んだことで、お互いの役割分担を理解することができたのではないだろうか。行政職員、教員だけではなく、民間など多様な方が共に学ぶ意義。



社会教育主事講習を通じて目指すこと

- 北海道内における、社会教育主事の配置促進。
- オンラインでの実施により、受講しやすい環境づくりを進め、社会教育行政についての知見がある方(社会教育士)を、行政内部だけでなく、社会の様々な領域にいる状況を創り出す。
- 道立生涯学習推進センター機能の一つである「指導者の養成・研修」に社会教育主事講習を核として、プレ研修やフォローアップ研修を効果的に位置付けることで、社会教育人材の養成・研修を系統的に展開。
 - ・ 北海道の実情に応じた実践的な学びの場の実現。
 - ・ 地域づくりや福祉などを、教育部門との連携によって、自治的に進めることができる、よき社会の実現。